USB 接続ハードディスク

HD-MU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク
　D:CD-ROM ドライブ

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・本書では、Micrsoft Windows Millennium Edition を WindowsMe、Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。

目次

1 はじめに

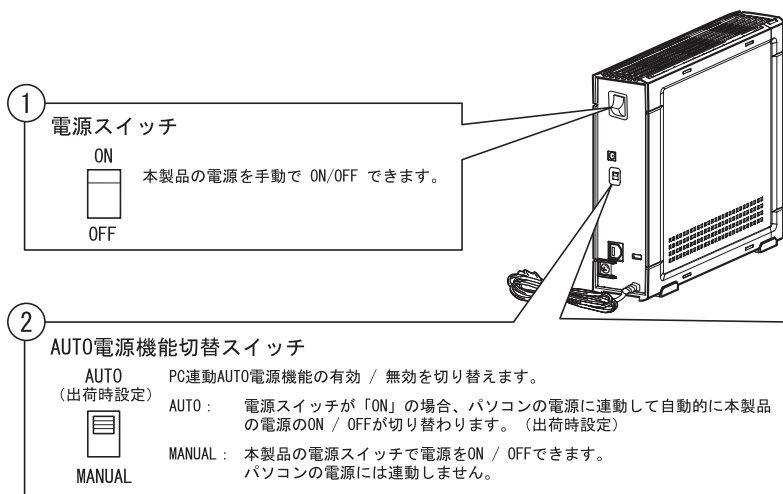
本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称

● 前面

● 背面

電源の ON/OFF

本製品の電源は、「PC 連動 AUTO 電源機能 」によってパソコン本体の電源 ON/OFF に合わせて自動で ON/OFF することも、手動で ON/OFF することもできます。
出荷時は、PC 連動 AUTO 電源機能が有効になっています。

⚠注意 「PC 連動 AUTO 電源機能 」使用時の注意

- **「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないとがあります。この場合は MANUA L にしてお使いください。**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに少し時間がかかることがあります。**
- **AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品の電源ランプが消えないことがあります。本製品の電源スイッチを OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。**

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップ

別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でセットアップしてください。

セットアップ時の注意

Mac OS、Windows 共通の注意

● **本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされています。**
Mac OS X 10.4 以降と Windows を併用する場合や Windows Me/98SE/98 でのみ使用する場合は、そのままお使いください。
Mac OS X 10.4 以降でのみ使用される場合や、Mac OS X 10.3 以前および Mac OS 9 をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式で初期化してください。
Windows Vista/XP/2000 でのみ使用される場合は、NTFS 形式でフォーマットすることをお勧めします。

● **本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前に初期化（フォーマット）してください。**

Mac OS の注意

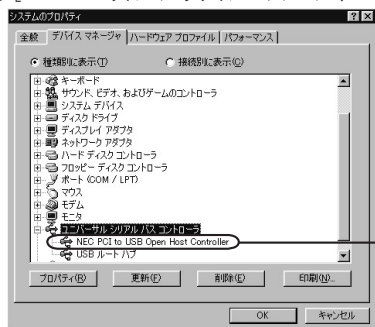
● **本製品をパソコンに接続すると、アイコン（ 、 、 のいずれか）がデスクトップに追加されます。**

Windows の注意

● **Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

次のページへ続く

● Windows98（Second Edition を除く）を使用しているときは、次の確認を行ってください。

①［マイ コンピュータ］を右クリックします。
②メニューが表示されたら、［プロパティ］をクリックします。
③［デバイス マネージャ］をクリックします。
④［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］の下に表示されているデバイス名を確認します。

［NEC PCI to USB Open Host Controller］と表示されている場合は、Windows98 System Update をインストールする必要があります。［NEC PCI to USB Open Host Controller］が表示されていない場合は、Windows98 System Update のインストールは不要です。

※ Windows98 System Update は、マイクロソフト社の Windows Update サイト（http://windowsupdate.microsoft.com/）でインストールができます。

メモ
・本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。
・本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。【P14「初期化（フォーマット）」】

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista .... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック
WindowsXP/Server 2003 .... ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック
Windows2000 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック
WindowsMe/98SE/98 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
WindowsXP/2000/Server 2003	ディスクドライブ	ドライブユニット名　USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス ※緑色に白字で「?」が表示されますが、これは Windows 付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。
	記憶装置	USB ディスク
Windows98SE/98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	BUFFALO USB Mass Storage Device
		BUFFALO INC. USB-SATA Bridge

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意
- **本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
- **本製品にアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● PC 連動 AUTO 電源機能について
- PC 連動 AUTO 電源機能を使用すると、パソコンの電源に連動して本製品の電源が ON になります。【P4】
- 本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USB からの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
- パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品のパワーランプが消えないことがあります。そのときは、本製品の電源を OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。

● **Mac OS 9 や MacOS X 10.0.4 ～ 10.3 をご使用の方は、本製品を使用する前に必ず初期化（フォーマット）してください。****【P14】**

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。**【P11「本製品の取り外しかた」】**

⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（アクセスランプが点灯 / 点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

次のページへ続く

本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC 連動 AUTO 電源機能を使用していると、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

・本製品にオプションファン「OP-FAN-WH」が付属している場合は、必ず取り付けてください。

・本製品を積み重ねて使用するときは、必ず別売または付属のオプションファン「OP-FAN-WH」を本製品に取り付けてください。
・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせないでください。

● Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。MacOS や Windows Vista/XP/2000/Server 2003 をお使いの場合には、MacOS 拡張形式や NTFS 形式で本製品を初期化(フォーマット)すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● WindowsMe/98SE/98 付属のドライブスペース 3 は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になる恐れがあります。

● Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

TurboUSBについて（Mac OS X 10.4.0以降、Windows Vista/XP/2000のみ）

TurboUSBとは、本製品の転送速度を高速化する機能です。本製品の転送速度を高速化したい場合に有効化してください。

注意

- **対応OSは、Mac OS X 10.4.0以降、Windows Vista/XP/2000です。**
- **USB2.0接続のみ対応です。USB1.1には対応しておりません。**
- **本製品に収録されているTurboUSBは、本製品専用です。他の製品は、有効になりません。また、他の製品に付属のTurboUSBで本製品の転送速度を高速化することはできません。**

Mac OS X 10.4.0以降をお使いの場合

以下の手順で有効化してください。

1. **ユーティリティCDをパソコンにセットします。**
2. **ユーティリティCD内の「TurboUSB」フォルダにある「TurboUSB HDD Install」をダブルクリックします。**

以降は、画面の指示に従ってください。

- **TurboUSBを無効にする場合は？**
  ユーティリティCD内の「TurboUSB」フォルダにある「TurboUSB HDD UnInstall」をダブルクリックし、画面に従って無効にしてください。

3 使いかた

Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合

以下の手順で有効化してください。

1　ユーティリティ CD をパソコンにセットします。

Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら [DriveNavi.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックしてください。

2　[オプション] → [TurboUSB を有効化します] を選択します。

以降は、画面の指示に従ってください。

● **有効 / 無効の設定方法**

[スタート]-[（すべての）プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[TurboUSB for HD-MU2] を実行すると、有効 / 無効を切り替えられます。

※ 実行できない場合は、「有効化」手順で有効化した後、設定を行ってください。

● **設定の確認方法**

TurboUSB が有効の場合、本製品を取り外すときに表示されるメニューに「TurboUSB」という文字が表示されます（P12 参照）。

● **TurboUSB が不要となったら**

TurboUSB 機能が不要になった場合は、[スタート]-[（すべての）プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[アンインストーラ] でアンインストールできます。

※本製品の TurboUSB をアンインストールすると、本製品以外の製品の TurboUSB 機能もアンインストールされます。本製品の TurboUSB 機能を停止させたい場合は、アンインストールせず無効に設定することをお勧めします。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で本製品を取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。

Macintosh

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコン（ 、 、 のいずれか）をゴミ箱（ または ）にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

左の画面は、Mac OS Xの例です。Mac OS Xの場合、本製品のアイコンをドラッグすると、ゴミ箱のアイコンが に変わります。

2 本製品を取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。

3 使いかた

Windows Vista/XP/2000/Server 2003

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を例に使用しています。**
NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

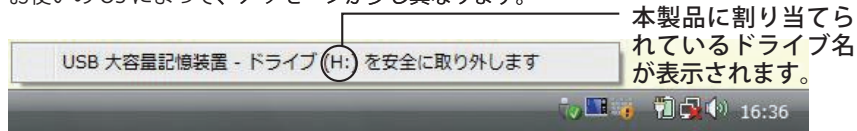
1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン (Windows Vista)/ (Windows XP/Server 2003)/ (Windows 2000) をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を安全に取り外します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (H:) を安全に取り外します

16:36

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

⚠注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。**

3 [USB 大容量記憶装置（デバイス）は安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

メモ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

WindowsMe

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB ディスク - ドライブ (X:) の停止] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

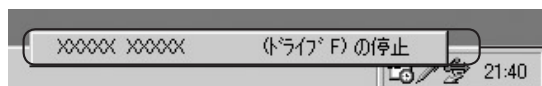
3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

4 本製品を取り外します。

Windows98SE/98

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2

ドライブ名 (製品によって異なります) をクリックします。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

4 本製品を取り外します。

3 使いかた

4 初期化（フォーマット）

本製品を初期化（フォーマット）する方法を説明しています。

ご注意

● **Mac OS 9 や Mac OS Ｘ 10.3 以前をお使いの場合は、必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。**

Mac OS 9 や Mac OS Ｘ 10.3 以前をお使いの場合は、出荷時状態（FAT32 形式）で使用できません。必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。

● **Windows をお使いの場合は NTFS 形式、Mac OS Ｘ 10.4 以降をお使いの場合は Mac OS 拡張形式でフォーマット（初期化）することをお勧めします。**

本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。Windows や Mac OS Ｘ 10.4 以降をお使いの場合、そのままお使いいただくこともできますが、4GB 以上のファイルを保存できません。Windows と Mac OS Ｘ 10.4 以降で併用する場合にのみ、FAT32 形式でお使いください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

↘次へ

お使いの OS に応じて、次のページを参照してください。

- Mac OS Ｘ 10.3 以降……………………………【P15】
- Mac OS Ｘ 10.0.4 ～ 10.2.8 ……………………【P19】
- Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 …………………………【P21】
- Windows ……………………………………【P22】

Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。Mac OS のみで使用する場合は、Mac OS 拡張形式で初期化します。Mac OS X 10.4 以降をお使いで Windows でも本製品を使用される場合は、MS-DOS ファイルシステム形式で初期化します。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
- **本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

Mac OS のみで使用される場合

本製品を Mac OS 拡張形式で初期化します。

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

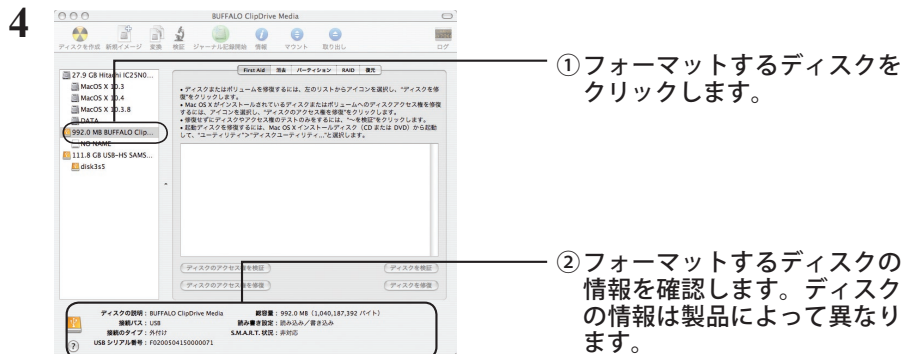
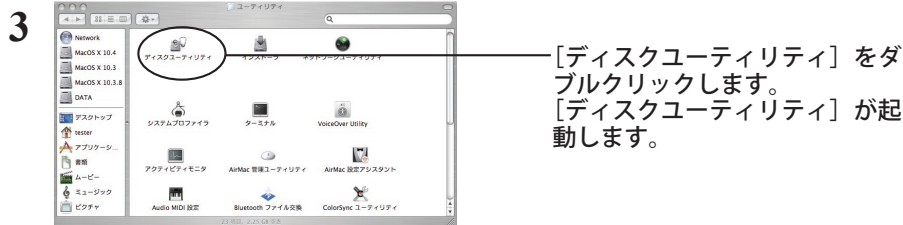
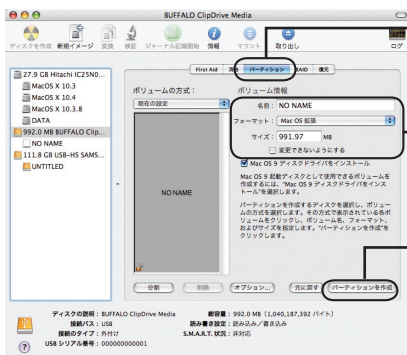
2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

① フォーマットするディスクをクリックします。

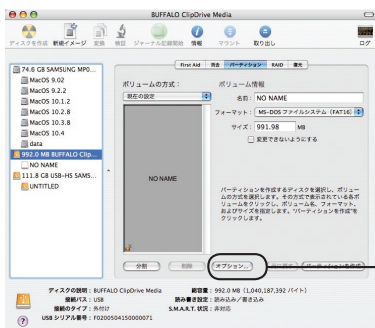
② フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

① ［パーティション］をクリックします。

②ボリューム情報を設定します。フォーマットには、[Mac OS 拡張] を選択してください。

③ ［パーティションを作成］をクリックします。

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

[オプション] をクリックします。

2

Apple 以外のハードウェアに接続する可能性のあるリムーバブルメディアまたは外部ドライブの場合は、パーティションマップを"PC パーティション方式"に設定できます。デフォルトは"Apple パーティション方式"です。

パーティションの方式：Apple パーティション方式

デフォルト　キャンセル　OK

① ［Apple パーティション方式］を選択します。

② ［OK］をクリックします。

6

[パーティション]をクリックします。

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Windows と併用される場合（Mac OS X 10.4 以降のみ）

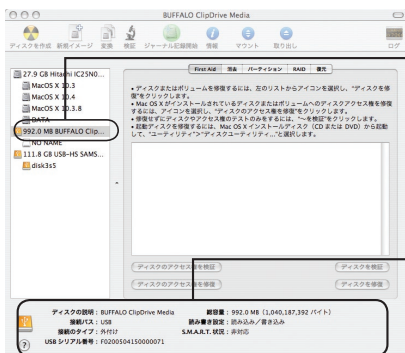
本製品を MS-DOS ファイルシステム形式で初期化します。この手順で初期化すると、Windows でも本製品を使用することができますが、4GB 以上のファイルを保存できません。また、本製品がマウントされるのに数十秒かかることがあります。

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

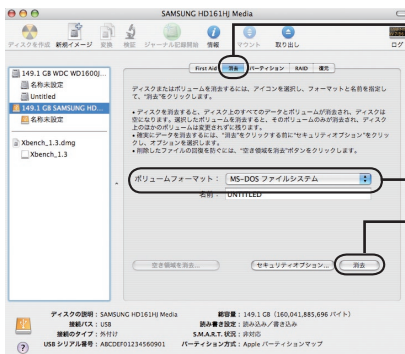
3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

①［消去］をクリックします。

②ボリュームフォーマットに [MS-DOS ファイルシステム] を選択します。

③［消去］をクリックします。

6

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意 **・フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
・本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。

1 デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。

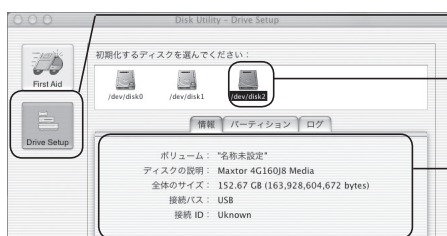
2 [Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［アプリケーション］フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。)

3 ［Disk Utility］をダブルクリックします。

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。)

4

Mac OS 10.0.4 の画面

①［Drive Setup］をクリックします。

②フォーマットするディスクをクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS X 10.1/10.2 以降の画面

①フォーマットするディスクをクリックします。

②[情報] をクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

次のページへ続く

5 Mac OS X 10.0.4 の画面

① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション方式(作成するパーティションの数)を設定します。

③パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張] を選択してください。

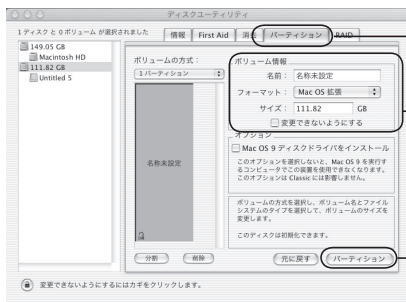
④ ［パーティション］をクリックします。

Mac OS X 10.1 の画面

① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張] を選択してください。

③ ［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.2 以降の画面

① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張] を選択してください。

③ ［パーティション］をクリックします。

※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 「（略）この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2

ここでは例として、本製品を MacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。**
- **Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 では本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。**

1 **[アップルメニュー] － [コントロールパネル] － [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

2

3 **パソコンが再起動したら、本製品を接続します。**

> **「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージが表示された場合**
>
> ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

4 **デスクトップ上にある本製品のディスクアイコンをクリックして選択します。**

5 **画面上部にあるメニューバーの［特別］をクリックし、［ディスクの初期化] をクリックします。**

6 **「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に [Mac OS 拡張] を選択して［初期化］をクリックします。**

本製品の初期化が始まります。

7 **[アップルメニュー] － [コントロールパネル] － [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

8 **「File Exchange」の左の [□] をクリックして [×] にし、[再起動] をクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。

Windows

Mac OS X 10.4 以降と併用する場合や Windows Me/98SE/98 で使用される場合は FAT32 形式、Windows Vista/XP/2000/Server 2003 でのみ使用される場合は、NTFS 形式でフォーマットします。

Mac OS X 10.4 以降でも使用される場合や Windows Me/98SE/98 をお使いの場合（FAT32 形式でのフォーマット）

⚠注意 本製品に保存できる1ファイルの最大容量は、4GB です（FAT32 形式の制限です）。Windows Vitsa/XP/2000/Srver 2003 をお使いの場合は、P24「Windows Vista/XP/2000/Server 2003 でのみお使いになる場合」の手順でフォーマットすれば、4GB 以上のファイルも保存できるようになりますが、Mac OS X 10.4 以降や Windows Me/98SE/98 では使用できません。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。
フォーマットには DISK FORMATTER を使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

■ DISK FORMATTER をインストールする

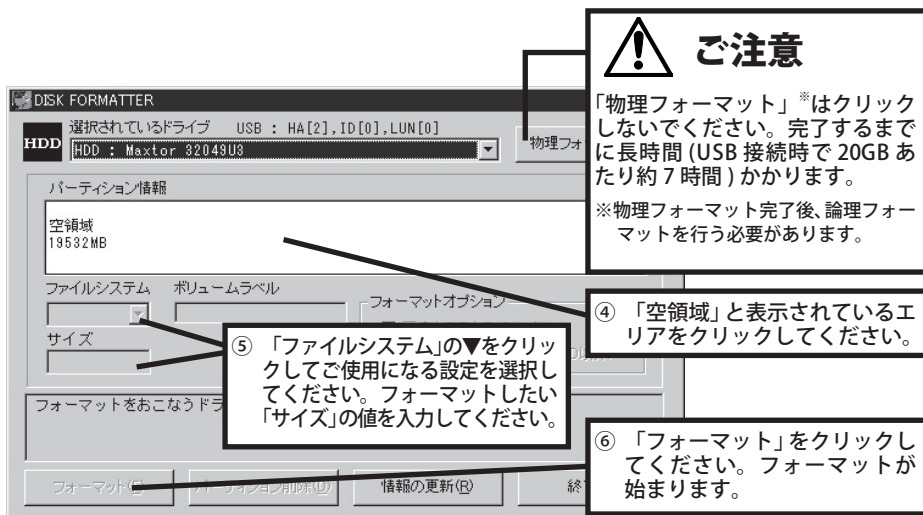
別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でインストールしてください。

■フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatter を起動します。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く

「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、［OK］をクリックし、P11 の手順にて、いったん本製品をパソコンから取り外します。
再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

⚠注意　137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ

137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

⚠注意

- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。**

メモ

- 2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では､1 つの領域は最大 2047MB となります。
- Disk Formatter に関する詳細は、「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル 」（PDF ファイル）を参照してください。

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 でのみ使用する場合（NTFS 形式でのフォーマット）

フォーマットするときは、以下の手順で行ってください。

⚠注意 **・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。

・ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、P22 を参照してください。

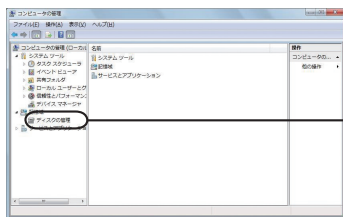
1 **パソコンを起動し､コンピュータの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。**

2 **［スタート］をクリック→［コンピュータ（マイコンピュータ)］を右クリック（Windows 2000 の場合は､デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック）し、［管理］をクリックします。**

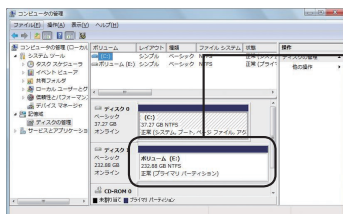
以下の画面が表示されたら？

Windows Vista の場合、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、［続行］をクリックしてください。

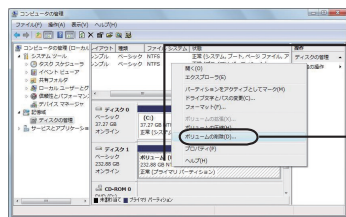
3

［ディスクの管理］をクリックします。

4

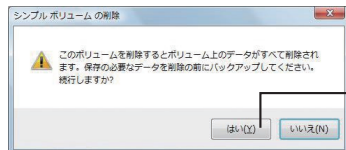
本製品に割り当てられているドライブを確認します。

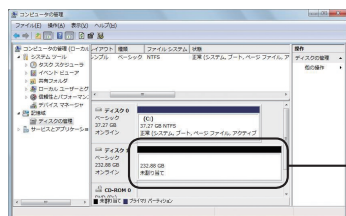
※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

⚠注意 **本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。**

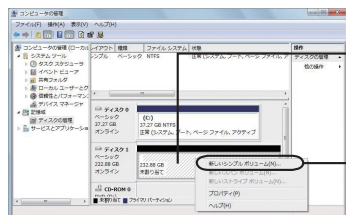
次のページへ続く

5

① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

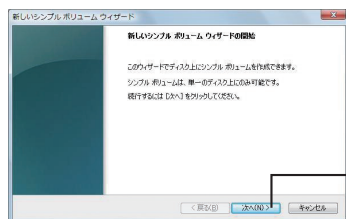
② [ボリュームの削除] をクリックします。

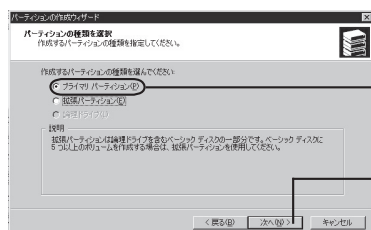
6

[はい] をクリックします。

7

未割り当て領域が表示されます。

8

① 未割り当て領域を右クリックします。

② ［新しいシンプルボリューム］（Windows XP の場合は［新しいパーティション］、Windows 2000 の場合は［パーティションの作成］）をクリックします。

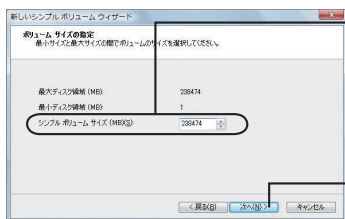
9

［次へ］をクリックします。

以下の画面が表示されたときは？

① ［プライマリ パーティション］をクリックして（•）を付けます。

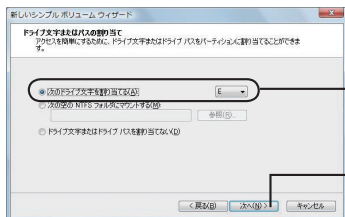
② ［次へ］をクリックします。

4

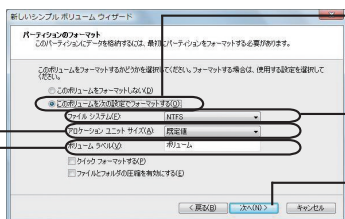
初期化（フォーマット）

10

① ［シンプルボリューム サイズ］（［パーティションサイズ］または［使用するディスク領域］）でサイズを指定します。
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］をクリックします。

11

① ［次のドライブ文字を割り当てる］をクリックし、ドライブ文字を指定します。
※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ］をクリックします。

12

① ［このボリューム（パーティション）を次（以下）の設定でフォーマットする］をクリックし、（・）を付けます。

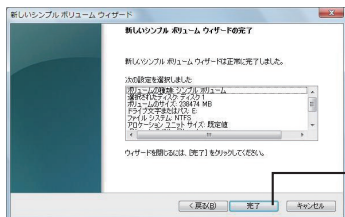
② ［NTFS］を選択します。

③ 各項目を設定したら、［次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

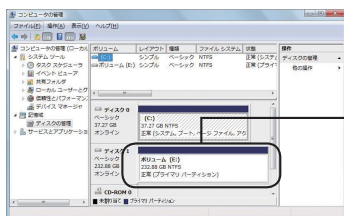
⚠注意 **本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

13

［完了］をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

次のページへ続く

14

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK］をクリックします。

⚠注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**

3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 10 でサイズを指定し、以下手順 14 までを作成する数だけ繰り返します。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW
・光磁気ディスク（MO）　・増設ハードディスク　・ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ **Windows98 付属のバックアップツールを使って、MO にデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計が MO ディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98 付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MO ディスクの空き容量に納まるようにしてください。**

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Mac OS Xや Windows には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ

- **エラーのチェック方法は、Mac OS Xや Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Windows98SE/98 にて 130GB 以上の本製品を出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**
- **Mac OS 9 には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。**

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ

- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。**

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

<table>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td>USB</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td>USB Specification Rev2.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td>USB シリーズ B コネクタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">セクタ容量</td><td>512Bytes</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークタイム</td><td>最大 11msec</td></tr>
<tr><td colspan="2">転送速度</td><td>最大 480Mbps（※ 1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出荷時フォーマット形式</td><td>FAT32(1 パーティション)</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>45(W) × 163(H) × 200(D)mm（突起物含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>最大 25W、平均 17W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>AC100V、50/60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td>5 ～ 35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>20 ～ 80%(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応機種</td><td>USB コネクタを標準搭載する次のパソコン
・Apple 製 Macintosh(※ 2)
・DOS/V 機（OADG 仕様）
弊社製 USB ボード (別売) を搭載した次のパソコン
・DOS/V 機 (OADG 仕様)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応 OS</td><td>Macintosh（※ 3）</td><td>Mac OS 9.0.4 以降、Mac OS X 10.0.4 以降</td></tr>
<tr><td>DOS/V 機</td><td>Windows Vista/XP（Media Center Edition を含む）/2000、Windows Server 2003、WindowsMe(Millennium Edition)、Windows98SE(Second Edition)、Windows98</td></tr>
</table>

※ 1 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

※ 2 iMac DV で本製品を使用する場合は、Mac OS のバージョンが 9.1 または 9.0.4 である必要があります。

※ 3 Macintosh をお使いの場合、本製品を USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、Mac OS のバージョンが 10.2.7 以降である必要があります。

HD-MU2 シリーズ ユーザーズマニュアル

2007 年 7 月 10 日 初版発行

発行　　株式会社バッファロー